ＤＸ推進宣言

2024 年 10 月 21 日
（2026 年 10 月 13 日更新）

株式会社ヤシマ
代表取締役社長 箕浦 裕

◆ 経営理念

株式会社ヤシマは、グローバル化が進む製造業において、電池部品の国内トップシェア企業として、技術の高度化と自動化・IT 化を推進し、人と車の安全を守り続けます。

◆デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響

デジタル技術の進展は、特に製造業分野では生産性の向上に大いに寄与してきました。当社におきましても、これまでモノづくり技術とデジタル技術を集結し、生産設備を完全自動化して高品質・低価格の製品を提供してきました。当社は、今後も新たなデジタル技術を活用して、さらなる生産性の向上と労働環境の改善を進めて参ります。

◆ DX ビジョン（３年後にありたい姿）

経営理念の実現に向けてデジタル技術を活用して工場設備の生産性の向上を推進し、「働き方改革」として社員全員にとって働きやすい職場環境を整備していきます。そして、お取引様・社員・社会にとって価値のある製品の提供を目指していきます。

◆ DX 戦略・施策

➢フェーズ 1(2026 年度)

＜戦略＞本社工場設備の全体最適な生産ラインへの改善よる生産性向上の実現

・工場設備の導入経過年数を確認するとともに、各生産ラインの自動化の進展度を評価し、設備投資計画を策定します。

＜施策＞

・中期設備投資計画の策定

➢フェーズ 2(2027 年度)

＜戦略＞従業員全員にデジタル化の認識を高め業務に取り込む環境を実現

・設備の自動運転稼働状況について、クラウド環境下で構築したシステムを活用し、一時停止トラブル後に早期復旧できる体制を構築します。また、稼働実績データベースを活用して自動運転の一時停止トラブルの発生状況を分析し、稼働率の向上に取り組みます。
・中期設備投資計画に基づき設備の更新及び改善に着手します。また、各生産ラインにおいて生産性向上に向けたデジタル化の活用のアイデアが生まれる土壌作りを進めます。

＜施策＞

・設備の自動運転稼働率の向上を図るため、自動運転稼働状況の見える化を推進します。
・設備更新・改善ロードマップを作成して従業員のアイデアが DX 推進につながる体質の醸成
・老朽化しているプラスチック成形機、組立機の更新に着手し、継続的に自動化を推進します。

➢フェーズ 3(2028 年度)

＜戦略＞従業員のアイデアをもとに生産性向上・働き方改革を実現する仕組みを構築

・従業員のアイデアをもとに、デジタル化による改善を取り込み、生産性向上を図ります。また、現場従業員の声が経営に活かされていると実感できるよう社内コミュニケーションの円滑化を進め、働き方改革につなげていきます。

＜施策＞

・体制や表彰制度等の整備
・工場設備の自動運転稼働率の向上

◆ DX 推進体制

・当社生産品質会議の中に設置した DX 推進チームにおいて、代表取締役社長が統括責任者となって DX 戦略の実行を推進していきます。

・DX 推進チームに配置した DX 推進責任者が中心となって、従業員の社内研修や OJT を通して DX 戦略の推進に必要な人材を育成していきます。

◆ DX 推進目標

・自動運転稼働率：2025 年度実績 92%→2028 年度末 95%

以上